

## 令和7年度 第4回 12月19日（金）学校運営協議会

☆学校運営協議会委員の皆さんに、2学期の学校の様子と3学期の計画をお伝えし、ご意見、ご要望をいただきました。

参加者6名《敬称略：柳平千代一、木川亮一、柳平忠治、両角一夫、小尾定良、宮坂均（校長）、吉川豪（教頭）》

### （1）手作り弁当の日について

○手作り弁当の日で、寂しい思いをする子はいるのか？

校長）コンビニやスーパーの惣菜だけを詰めたような子は見られなかった。みんな何かしら家で作ってきていた。

○保護者はどう感じているか。保護者の協力を称賛し、気持ちを高めてもらったり、認めてもらったりすると、またやってくれると思う。

校長）あたたかなお弁当を持ってきている。これは、保護者の方のおかげなので、続けていかれるように、感謝の気持ちを伝えてきたい。

教頭）手作り弁当の学習カードに、子どもたちの振り返りと保護者の感想を書いていただいている。そこに、保護者の声が出てくるので、それらを返していきたい。栄養士が、それぞれにコメント書いて返しているので、そこに感謝の気持ちを盛り込めるようにしていきたい。

○弁当を作り続けること、この行事を続けることが大事だと思う。保護者の意見をまとめていくことも必要なのでやっていただきたい。

### （2）行事の時期について

○運動会を春開催にしたことは、準備や練習の時間が涼しいときにでき、充実していく良かったと思う。入れ替わりで10月中旬に音楽会が入ることになった。5年生の米づくりの収穫や2年生の地域探検と時期が重なり、やりくりが少し忙しくなった。音楽会を9月末から10月初め頃に入れることはできないか。

校長）音楽会をどこにするのがよいか、校内でも検討していきたい。

○秋は行事をやるのにやりやすい季節なので、多くが重なると感じる。

校長）9月末から10月初めは中学校の文化祭の時期になる。10月末は新人戦の中体連が関わってくるので、中学との関係も見つつ行事の時期を考えたい。



### (3) 人権月間について

○人権月間では社会福祉協議会の方に関わってもらって、福祉教育を毎年しているのか。

校長)毎年、社協の方に関わっていただいている。学年でやる内容を決めておくことで、網羅できるようなかたちで毎年進めている。3年で車いす体験、4年で点字、5年で難聴の方、6年でユニバーサルデザインというかたちで行っている。身近なところにいる生の人に会えることで、子どもたちがかわいそうという感覚ではなく、「すごい」と思える出会いができている。



○豊平塾で6年生と一緒に防災学習をした。その時、困っている人に対して、「自分ができるることを考え、どうにかして助けよう」という子たちだった。そのような子どもたちに育っている事は、福祉教育を続けてきた成果だと思う。

### (4) 「豊平塾」について

○「豊平塾」はとてもよい行事だったので、ぜひ続けてほしい。

○学校の目玉としていろいろな活動をしていくには、「豊平塾」はとてもよいと思う。地域で活動をしている人と一緒にやってみるのはどうか。例えば踊りや詩吟、ゲートボールなど、楽しくサークル活動をしている方たちがいる。

### (5) 音楽部について

○音楽部が、中学校の吹奏楽部や合唱部と交流をしていると聞いたが、とてもよい試みだと思う。

校長)中学との兼ね合いもあり、音楽部の移行を今後どうするかは考えていきたい。地域移行していくので、学校としても方針を出していかないといけない。



○「やってみたい」という子どもたちの気持ちを中学へつなげられるうれしい。

○やってみたいことの幅が広がり、多様な種目になってきているので、全部に答えるのは非常に難しくなってきたのではないか。

○送迎や練習場所の確保など、家庭の負担が多くなっていると感じる。小学校の合唱と金管は変わらずに取り組んでいくのか。

校長)児童数の減少で、職員数も減っていく。音楽部にしてきた経緯も、今まででは合唱団と金管バンドとそれぞれ指導ができる職員がいたり、構成する児童数がいたりしたが、児童数が減少していくことに伴って1つのクラブにしてきた。

○子どもの人数の減少について、仕方ないことだが、ますます活動が減退していく。不安だ。



## (6)児童数減少に関わって

- 来年度 1 年生は一クラスか？  
校長)来年度の 1 年生は、一クラスの予定。
- 40 人弱位で 2 クラスに分かれられたら 1 番理想的だが、かなり減ってしまうのでびっくり。
- 子どもがいると入区してくれる。子どもが学校を卒業すると、退区する傾向にある。
- 塩之目地区は、わりと増えている。
- 子どもたちが帰ってきたくなる地域にしていきたい。小学校で体験した事は財産となっていて、戻ってきたい故郷となるのではないか。
- 働く場所があるかどうかは大きな問題。
- ディスコができたことで、そこで勤務しての方が年々増えている。

## (7)スケートについて

- スケート教室は年 2 回か。  
校長)各学年年 2 回で計画している。茅野市の多くの学校は本校と同じ回数。スケートクラブの構成人数は、低学年が多くなっている。
- 親のやる気が子どもの頑張りにつながる。  
校長)スケートクラブに入って、昨年度 1 年生だった子たちはヨチヨチだったけれど、1 年経つと上手になっていく。

## (8)地区との関わりについて

- 地区懇談会に、夏は担当職員が来たが、冬は来なかった。来られるなら来てほしい。
- 熊対策についてはどうするか。  
校長)本日、熊出没に関わって、全校児童に各学級で対策について指導を行い、家庭通知を配布した。校長が確認をしているが、今までに熊に会ったことはない。万が一熊が学区内に出没すれば、保護者の送迎をお願いする方向になる。登校班については、地域の方と協力してできるところはやっていきたい。